

みよう環境問題



平成17年8月竣工に向け建設中のエコフロンティアかさま
(最終処分場)

環境を守るためには、一人ひとりの取り組みが大切です。
豊かな自然を子どもたちに残していくには、これまでの大量消費・使い捨ての生活を見直し、環境にやさしい循環型の生活に変えていくことが必要です。
環境にやさしい生活は、ちょっとした心がけでできるものです。皆さんのご協力をお願いします。

身近なことからできる

ごみの減量

考えよう ごみを出さない暮らし方

「ごみ」は、ほとんどがリサイクル可能になってきています。そのためには、ルールを守った分別をして、出していたくことが必要です。缶、ビン、紙、ペットボトル、発泡スチロールは、資源としてリサイクルされ、粗大ごみは、鉄等に分別します。ルールを守って適切に出すことが環境にやさしい地域づくりを進めることとなります。

平成16年度は、1人当たり1日859グラムのごみが出されました。環境に配慮することにより、まだまだ、ごみは減らせると考えられます。市民の皆さんのご協力をお願いします。

〈問い合わせ先〉
市役所本庁環境課 ☎(52) 1111



ふたの付いたペットボトル・ビンは、手作業で取っています。ふたは、はずして出してください。

平成16年度常陸大宮市のごみ排出量

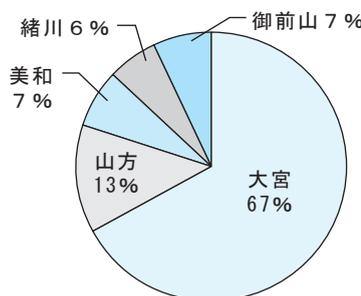
分類地域	可燃ごみ	粗大ごみ	資源ごみ	合計(トン)	常住人口(17.3.31)	1人当たりの年間排出量(kg)
大宮	8,136	657	1,323	10,116	27,247	371.27
山方	1,482	143	386	2,011	7,569	265.69
美和	663	95	250	1,008	4,299	234.47
緒川	575	95	198	868	4,443	195.36
御前山	804	89	89	982	4,263	230.35
合計	11,660	1,079	2,246	14,985	47,821	313.36

※資源ごみ…缶、ビン、紙類、ペットボトル、発泡スチロール等

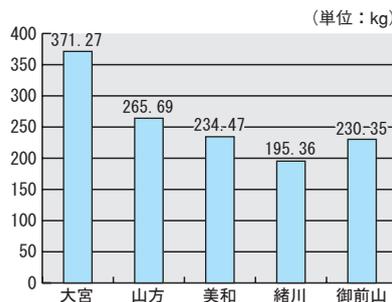


発泡スチロールのリサイクル作業

平成16年度地域ごとのごみ排出量



1人当たりの年間排出量



缶を圧縮処理してリサイクル

考えて



ルールの守られない ごみは収集しません

- ・ 排出日を守って出してください。
- ・ ルールを守り、分別をしてください。
- ・ 家電4品目、タイヤなど収集できないごみは、出さないでください。



ごみ集積所はルールを守ってきれいに使いましょう

生ごみ減量の味方…ボカシ

一般に家庭から出るごみの4割近くが生ごみと言われています。このごみを有用な資源に変える魔法の粉が『ボカシ』です。

ボカシとは、材料となる粉殻、ヌカとEM菌（有用微生物）等を混ぜ合わせ発酵乾燥させたもので、このボカシを加え、生ごみを発酵させて作るボカシあえは、次のようなたくさん効果があります。

- **ごみの減量化に。**
- **発酵時に出る液体は、薄めて植物の防虫剤に。あるいは排水溝のヌメリとりや脱臭に。**
- **完成したボカシあえを土に混ぜて、有機堆肥に。**

市内では、下岩瀬の中崎孝子さんを代表とするボランティアグループ「四葉会」の皆さんが、女性団体連絡協議会の協力を得て、このボカシづくりを20年近く続けてきました。市役所本庁環境課等を通して、1袋1kg入り300円で一般の方に販売しています。1袋で4人家族1か月分程度の生ごみを堆肥に変えることができます。ぜひご活用ください。



「ぼかしで育てた野菜は、とってもおいしいです」と、四葉会の皆さん。

《ボカシあえ(生ごみ発酵堆肥)の作り方》

- ①生ごみの水分を良く切り、専用のバケツに入れ、その上にボカシをふりかける。
- ②ふたをし、密閉する。
- ③容器が一杯になるまで①②を繰り返す。
- ④夏期は、1週間程度発酵させれば、ボカシあえのできあがり。
- ⑤完成したボカシあえを土に埋める。
- ⑥1・2週間でボカシあえの原形がなくなったら、植物の苗や種を植えてOK。

▶ボカシあえ作り専用バケツ（ふた付きタッパーで代用できます）



不法投棄は、犯罪です。

不法投棄にご注意を

不法投棄は、年々増加すると共に悪質化しています。

不法投棄をされる場所として、河川敷や道路わきの空き地、広場が狙われやすいようです。

なお、不法投棄された“ごみ”は、土地の持ち主の責任で処分しなければなりません。

不法投棄を発見したとき、あるいは不審な車等を見た場合には、ナンバーを控える等をして、市役所本庁環境課（☎52-1111）又は各総合支所市民課へご連絡をお願いします。